

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		スマートIC整備事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名 濱田善也
	施策	5	道路ネットワークの充実			所属課	企画財政課	担当者名 後藤 章博
	基本事業	13	計画的な道路の整備			所属班	政策企画班	(内線) 1245
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果
		1	2	1	11	11464		コスト削減優先度評価結果
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (21 ~ 22 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	地域間交流・広域交流の拠点整備のための北熊本SAにスマートICを整備する事業。 合併後の重要施策の1つとして位置付け、地域間交流や広域交流を図るための設置検討を開始した。 平成21年2月の制度改正により、これまでのサービスエリアやパーキングエリアでの整備に加え、本線直結型の整備が可能となった。平成21年2月に関係機関等で組織する勉強会を設置した。
【業務の流れ】	北熊本SAスマートIC整備に係る以下の業務を行う。 1. 市民・関係者・関係機関との協議及び調整に係る業務 2. 測量・設計及び整備に係る業務
【主な予算費目】	負担金、時間外勤務手当
【意見や要望】	県議会関係者などからは整備に向けた要望が寄せられている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
市民・関係者・関係機関との協議及び調整に係る業務 測量・設計及び整備に係る業務	市民・関係者・関係機関との協議及び調整に係る業務 測量・設計及び整備に係る業務
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ア 関係者との協議回数	回 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
北熊本スマートIC整備事業	⇒ア スマートIC整備箇所数 箇所 ⇒イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
計画のとおり整備される。	⇒ア 整備されたスマートIC数 箇所 ⇒イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
計画されたスマートICに対して、整備されたスマートIC箇所数を指標とした。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 回				10	10	10		
⑤ 対象指標	ア 箇所				1	1	1		
⑥ 成果指標	ア 箇所				0	0	1		
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円			7,126	4,554	11,000	
	(A) 事業費計	千円	0	0	7,126	4,554	11,000	0	0
	(A)のうち指定経費	千円			126	0	100		
	(A)のうち時間外、特勤	千円			126	0	100		
	人件費	正規職員従事人数	人			4	4	4	
延べ業務時間		時間			460	400	400		
(B)人件費計		千円	0	0	1,831	1,592	1,592	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	8,957	6,146	12,592	0	0

総トータルコスト	
全体計画	
21 ~	22 年度
(期間限定複数年度のみ記載)	
	15,554
	15,554
	100
	100
	8
	800
3,184	
18,738	

谷志市

事務事業名	スマートIC整備事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 熊本市との連携事業となっているため。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 熊本市との連携事業となっているため。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 主に関係者協議となるため削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 地域の道路交通の円滑化と地域間交流につながるの考えから熊本市と連携して進めている事業である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ 整備計画の上では両市主導であるが、整備の上では地域の合意形成は重要である。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

事業計画策定に向けた関係者協議が進み、整備案の絞込みは最終段階となっている。
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	△	維持			△		低下		
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○	△																		
	維持			△																		
	低下			△																		

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

--